

～実りの秋・昆虫の秋！～

まだまだ暑い日が続いていますが、彩湖の周りでは、そろそろセミの声も少なくなってきました。草原では、大きく成長したショウリョウバッタやトノサマバッタが跳ね回り、コオロギやキリギリスの仲間たちの鳴き声が日に日に大きくなってきました。確実に秋の足音が近づいています。ところで、バッタの仲間には、同じ種類であっても色が違う個体があるのを知っていますか？例えばショウリョウバッタやトノサマバッタには、緑色型、褐色型(茶色)、混合型などのタイプがあります。また、同じ種類のバッタでも羽の長さが違い、長距離を飛ぶことのできるものもいるそうです。それぞれすむ場所によって周りの環境に順応するため、少しずつ変化してきたのでしょう。



ボクは茶色です。

ボクは緑色です。



さて、夏休み明けから小学校3年対象のセンター授業が始まりました。小学校理科の「虫を調べよう」について、センターを活用した学習を行っています。子どもたちの中には、虫を苦手としている子もありますが、グループで虫を探したり、観察したりしているうちに、「初めて虫を触ることができた。」「バッタってよく見るとかわいいね。」などの感想も聞かれました。普段、自然に触れる機会が少ない子どもたちも、センター授業をきっかけとして、自然の素晴らしさに気づき、自然を大切にする心が育ってくればと思います(N)。

季節の生き物

鳴く虫たち

夏から秋にかけて、昼も夜もいろいろな虫が鳴いています。

昼はセミの大合唱。ミンミンゼミ(ミンミンミンミンミー)、アブラゼミ(ジーギリジリジリジリ・・・)、最近では戸田の近くでもクマゼミ(シャーシャー)もいるようです。

夏の終わり頃になるとツクツクボウシがオーシーツクツク、オーシーツクツクと鳴くようになります。

夜になり少し周りが静かになると、エンマコオロギ(コッコロリー)、ツツレサセコオロギ(リーリーリー)、キリギリ



エンマコオロギ

ス(ギーツチョン、ギーツチョン)、クサキリ(ジー)等が聞こえてきます。でも、草が減ってきているのと、車などの騒音にかき消されてよく耳を澄ませないと聞こえないかもしれませんね。そんな中、中国が原産地といわれるアオマツムシは、街中でも木の上でリーリーリーと大きな声で鳴いているそうです。

本当に上に書いてあるように鳴いているか、外に出て実際に聞いてみてください。夜出かけるときは大人の人と一緒に行ってくださいね！(R)

講座案内

9月7日(日) **自然観察会** 雨天実施

「昆虫ウォッチング・秋」

草むらをよく見てみると、バッタやカマキリなどの昆虫がにぎやかに動き回っています。講師の先生と一緒に彩湖周辺を歩きながら、いろいろな昆虫を観察しましょう。

対象：一般、親子、小・中学生(小学3年生以下は、保護者同伴)

定員：40名

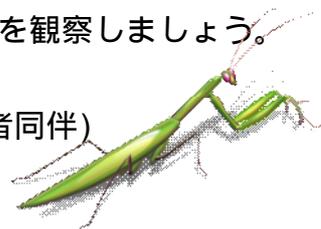
時間：10:00～12:00

持ち物：帽子、タオル、動きやすい服装(なるべく長そで、長ズボン)、飲み物
虫とりあみ、虫かご(貸し出し可)、虫除けスプレー(必要な方)

参加費：100円(保険代)

その他：昆虫の持ち帰りはできません。

スズメバチが活発に動く時期です。濃い色、黒い服の服は避けてください。



10月11日(土) 雨天12日(日)に延期

「笹目川で投網体験と生きものさがし」

戸田の漁師さんたちに投網を教わります。実際に笹目川で投網の体験をしたり、タモ網で生き物をつかまえたりします。講師の先生と一緒に生きものを観察しましょう。

対象：小・中学生(小学3年生以下は、保護者同伴)

定員：20名

時間：10:00～15:00

持ち物：昼食、飲み物、帽子、タオル、着替え、ぬれてもいい靴(運動靴・マリンスューズなど、サンダルは不可) ひざくらいまで水につかります。

参加費：100円(保険代)

その他：採取した生きものの持ち帰りはできません。

申込方法：彩湖自然学習センターへ電話にてお申し込みください(申し込みは代理の方でも結構です)。各講座は定員になり次第、受付を終了させていただきます。

なお、申し込みは講座の1か月前から受け付けています。 :048-422-9991

詳しくは彩湖自然学習センターホームページ

(<http://www.city.toda.saitama.jp/433/432448.html>)をご覧ください。